



開催期日

令和元年 7月20日 (土) 11:30~15:40

開催場所

国立国語研究所 2F 講堂 (東京都立川市緑町 10-2)

参加費・事前申し込み 不要

概要

所員がどのような研究をしているのかを専門外の方や学部・大学院の学生に わかりやすく伝えることを目的として、研究所オープンハウスを実施します。

国立国語研究所の創立 70 周年および、人間文化研究機構移管 10 周年の記念 事業の一環として実施します。

スケジュール

11:30~14:30 ポスター発表

全教員・特任研究員が研究活動を紹介します。

ポスター説明時間 11:30~13:00 (ポスター番号奇数) /13:00~14:30 (ポスター番号偶数)

11:40~15:40 研究資料室中央資料庫見学ツアー (先着 30 名)

普段は入室のできない国語研の研究資料室中央資料庫をご案内するツアーを実施します。過去の貴重な調査資料がどのように保管されているのかなどをご覧いただく予定です。

※受付時に見学を希望する方に整理券を配布します。ツアーの所要時間は、約 20 分です。

(14:40~15:00/15:00~15:20/15:20~15:40)



ポスター番号	担当教員名	タイトル
1	プラシャント・パルデシ	現代日本語統語・意味解析コーパス (NPCMJ) の概要と検索
2	山口昌也	観察支援システム FishWatchr を用いたディスカッション練習の観察と振り返り
3	石本祐一	『日本語日常会話コーパス』 から見える日常会話の韻律的特徴
4	朝日祥之	北海道方言に見られる経年変化―道内 4 都市における調査結果から―
5	高田智和	ヲコト点 (訓読記号) の整数座標表現

6	木部暢子	危機言語・危機方言の記録と記述と復興
7	木部暢子	コーパスを使った方言研究
8	岡照晃	UniDic—コーパスアノテーションのための電子化辞書—
9	新永悠人	琉球の超近距離方言間の異同に関する実証的データ収集
10	宇佐美まゆみ	みんなで協力して作って使う WEB 日本語教材とは？—共同構築型多機能データベース NCRB (Natural Conversation Resource Bank) の教材作成機能について—
11	青井隼人	琉球列島の珍しい音声を記録する：フィールド音声学の実際
12	窪田悠介	統語コーパスを用いた言語研究の試み：日本語の等位接続構造制約をめぐって
13	前川喜久雄	発音を可視化する：リアルタイム MRI 調音運動データベース
14	新野直哉	新聞記事に見る 102 年前の言語生活
15	横山詔一	ことばとココロと社会（その 2）岡崎市における身内敬語意識の量的推移
16	山田真寛	消滅危機言語の相互理解性と世代間継承度の測定
17	山崎誠	話し言葉における代名詞「あれ」の用法—母語話者と学習者の違い—
18	小木曾智信	コーパスで日本語の歴史を探る—「通時コーパス」プロジェクトの取り組み—
19	麻生玲子	南琉球八重山波照間方言の記述研究 ※
20	松本曜	空間移動の言語表現：実験的対照研究からわかること
21	小磯花絵	話し言葉の多様性—コーパスから見えてくること—
22	熊谷康雄	『日本語地図』をデータベース化する：問題と方法
23	大西拓一郎	方言における言語的距離と空間距離
24	福永由佳	日本の多言語化と言語景観—言語景観のメッセージを読み解く—
25	井上文子	依頼表現の地域差
26	野田尚史	日本語と世界の言語のとりたて表現
27	間淵洋子	読売新聞に見る近代の語彙・表記
28	窪園晴夫	元号のリズムと日本語の韻律構造
29	窪園晴夫	対照言語学的観点から見た日本語の音声と文法
30	野山広	地域に定住する外国人の日本語会話力に関する縦断研究—言語習得から言語摩滅への変容（ライフ）を受容しつつ—
31	石黒圭	話し合いで「読む技術」が上がる
32	籠宮隆之	パラ言語情報を伝える音響的特徴の解明と聴覚補助器評価尺度への応用
33	浅原正幸	日本語言語資源の包括的高度利用環境の整備
34	浅原正幸	『分類語彙表』に対する単語親密度付与
35	柏野和佳子	用例分析に基づく国語辞典情報の見直し（その 2）

※印のポスターは、ポスターのみの展示です。研究員による説明はありません。